

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）  
分担研究報告書

内科医、外科医および医療者の生涯教育に関する研究

研究分担者 酒井謙 東邦大学医学部 教授  
研究分担者 小野稔 東京大学医学部 教授

研究要旨：日本移植学会が作成した医療者、医学系学生に向けた教育資料活用に関しては、平易な言葉で改訂した。静止画のパワーポイント素材はMP4に変換して、youtube動画に使用できるよう整えた。全4編（総論、臓器提供他）を作成した。

A. 研究目的

内科・外科、医療系学生、高校生に臓器不全や移植医療に関する教育を行う必要がある。当分担任では、臓器の移植を希望する患者の意思を確実に汲み取るための内科医・初期研修医・医学系学生の教育プログラムの策定や臓器摘出術等の教育資料の開発を行う。

またこの分担任では移植医療の倫理や国際的な原則等に関する資料の開発やそれらを用いた普及啓蒙も目的とする。

B. 研究方法

日本移植学会の人材育成委員会で作成した教育資料をナレーション付きでMP4に変換した。近年のWHOからの移植に関する勧告も和訳して、公開用に作成した。2021年のJOT臓器移植ネットワークの、調べでは 全国の4,887校（国立：15／公立：3,550／私立：1,332）に対して、臓器移植の教育が行われている。学習指導要領解説に臓器移植の記載がすでにあり若年者から分かりやすい資料で学修すべきと考え高校生からを対象とした。

（倫理面への配慮）

高校生も見る機会を考え、丁寧かつ、平易に表現するよう配慮した。

C. 研究結果

臓器移植関連法案（MP4）臓器移植総論（MP4）臓器提供（MP4）日本の臓器あっせんの実際と死体移植（MP4）

WHO関連和訳

①ヒトの細胞、組織、臓器の移植利用の可能性の拡大、倫理的アクセスの確保、およ

び監督体制の強化（WHO勧告2024）

②ヒト臓器および組織移植<sup>1</sup>

WHO事務局報告

D. 考察

HP掲載の教育資料の完成を見たが、どのように、周知して、現場教育に繋がるかが課題である。

E. 結論

静止画教材をプロのナレーションによる動画化ができ、現場（高等学校、非医学系大学、医療系教育機関、初期研修医教育）へのアクセスに資する教材ができた。

F. 健康危険情報

なし

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表

酒井謙、江川裕人 イスタンブール宣言5学会声明 腎と透析95 (6)808-811, 2023

2. 学会発表

なし

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし